

道徳 人権週間での取り組み ～「きこえない」ということ～

横浜市立矢部小学校

単元（題材）目標

- ハンディキャップのある人に対し、自分のできることは何かに気付き、実践しようとする思いを育てる。
- 自分の周りには様々な人がいることを知り、思いやりのある態度を養うとともに、自分や自分以外の人を大切にしていこうとする思いを高める。

（1）実施時期

11月下旬

（2）対象（学年等・人数）

2学年 96名，1学年 90名，小学校教員9名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校職員：栄養職員1名

外部講師：市内在住聴覚障がい者（教諭親族1名）



（4）実施内容

①「きこえないことについて」のお話（2学年：学級ごと，1学年：学年全体）

- ・講師の方の紹介をしながら、パワーポイントを使って○×クイズ形式で、「きこえないことについて」の理解を深めた。（手話通訳あり）
（例：耳のきこえない人は全く何も音が聞こえない。→×：全く聞こえない人もいるけど少し聞こえる人もいる。人によって聞こえ方が違う。）

②手話体験

- ・「きこえない人とお話してみよう」ということで、話す手段はいろいろあることを知った。（口語，筆談，手話，指文字，等）
- ・「手話をおぼえよう」・・・簡単な会話（あいさつ，自分の名前等）を手話や指文字を使って，全体で実践したり，代表児童が実際に講師に手話で自己紹介をしたりした。

◎「これから，自分の周りできこえない人がいたら，どういう気持ちで，どう行動したらよいか。」ということをして，一人ひとりが考えることで，振り返った。

※手話が分からなくても，自分から関わろうとする優しさや勇気をもつこと，大きく口を開けて，表情を交えながらゆっくりと話すことが大切であるという指導を心がけた。

（5）成果

- ・耳が聞こえない人は，「手話」で話すことを知りました。指文字も難しくないのかなあと思いました。これからは耳が聞こえない人に親切にしたいです。
- ・耳が聞こえない人は手話をつかうことや大きく口でゆっくりとしゃべったり手で大きく字を書いたりすることで伝わります。もっと手話を覚えて人に優しくしたいです。
- ・耳が聞こえない人が困っていたら，私は話しかけて友達になります。
- ・耳が聞こえない人の話を聞きました。聞こえない人がどうやって過ごすのか教えてくれました。これからもみんなと友達になって仲良くしたいです。